

- **乳幼児の手の届く所には置かない。いたずらには充分注意する。**
けがの原因となります。
- **熱い飲料物を入れた場合は、ゆっくりと傾け注意して飲む。**
やけどの恐れがあり危険です。
- **電子レンジで加熱したり、冷蔵庫・冷凍庫で冷やしたりしない。また、ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。**
レンジ内での発火・故障の原因となり危険です。また、漏れや変形・破損の原因となります。
- **熱いものを入れる場合には、本体や口元にやかんなどが当たらないよう注意する。**
飲料物があふれて他の物を汚したり、転倒してやけどをする原因になります。
- **製品を横置きにしたまま放置しない。**
漏れる恐れがあります。
- **飲料物を入れたときは、横転させない。また倒したり落したりぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)や衝撃を加えない。**
変形して保温・保冷効力が損なわれたり、飲料物が出て他のものを汚したり、破損する原因となります。
- **丸洗いや、つけ置き洗い(水中に放置)は絶対にしない。**
すきまから水が侵入し、サビが発生する事により保温・保冷効力が損なわれたり、塗装の変色・剥離が発生する事があります。また、すきまに溜まった水が使用中に漏れて他の物を汚す原因になります。
- **バッグなどに入れる時は、本体を縦にする。またパソコン・携帯電話などの精密機器と一緒に持ち運ばない。**
飲料物が漏れた場合、バッグ内を汚したり、精密機器の故障の原因になります。
- **自動車や自転車運転中は使用しない。**
事故ややけどの原因となり非常に危険です。また、車内や他のものを汚す原因となります。
- **自動車用などの缶ホルダーは使用しない。**
ボトルが細いので転倒し、事故ややけどの原因となり非常に危険です。また、車内や他のものを汚す原因となります。
- **使用後は上ぶた・本体内側をよく洗う。また、飲料物を入れたまま長時間放置しない。**
腐敗によりガスが発生して内圧が上がり、飲料物が吹き出したり破損したりする恐れがあります。

【必ずお守りください】

- 熱い飲料物を入れた場合は、振らない。
内圧が上がり、勢いよく上ぶたが開いたりして、飲料物が飛び散る恐れがあります。
- 飲料物の量は口元より約3cm下で止める。
入れすぎると上ぶたを閉めたときに飲料物があふれる恐れがあります。
- ご使用の際は、各パッキンが正確に取り付けられている事を確かめ、上ぶたを確実に閉める。
パッキンを取り付けていなかったり、上ぶたの閉め方がゆるいと漏れの原因になります。
- 飲み終わったら放置せずに上ぶたを閉める。
転倒等により漏れややけどの原因になります。
- 飲料物の保温・保冷以外の用途に使わない。
- 熱湯での洗浄や煮沸洗浄、食器洗浄機や食器乾燥機の使用はしない。
熱により部品が変形し、漏れ等故障の原因になります。
- シナー・ベンジン・化学ぞうきん・みがき粉・たわし・クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗浄や塩素系漂白剤などは使用しない。
キズがついたり、破損の原因になります。
- お客様での分解修理は絶対にしない。
事故や故障の原因になります。
- 上ぶたを持って移動しない。
本体から外れて落下するなど危険です。

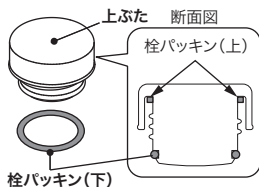
【使用上の注意】

- 飲料物を入れた後や持ち運ぶ前は、本体を上下逆さまにして、漏れないか確かめてください。
- 氷を入れるときは、先に飲料物を入れた後、静かに入れてください。また、氷が大きくて入らない場合はあらかじめ小さく砕いてください。
- 上ぶたを閉めるとき、飲み口に飲料物が残っている場合は拭き取ってください。
漏れる恐れがあります。
- 冷たい飲料物を入れたとき、湿度が高いと上ぶたに水滴がつく場合があります。
- 熱いお茶を長時間保温すると、色や風味が変わります。お出かけの際は、ティーバッグのご使用をおすすめします。
ティーバッグを入れたまま上ぶたを取り付けないでください。

お手入れの方法 1

- 残った飲料物を捨て、毎日簡単なお手入れをしていただくことが、いつまでも清潔にご愛用いただくコツです。
- お手入れをおこたったり、飲料物を長時間入れたままにしておきますと、汚れが落ちにくくなります。
- 食器洗浄機・食器乾燥機などの使用はしないでください。変形や、漏れの原因になります。
- シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、みがき粉、たわし、クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や塩素系漂白剤は使用しないでください。キズがついたり、変形・変色、破損の原因になります。
- スポンジや布は柔らかいものを使用してください。
- お茶、又は糖分や塩分を含んだものを入れた後は、充分にお手入れをしてください。

上ぶた・栓パッキン(上・下)



①お手入れの際は、上ぶたに取り付けられている栓パッキン(下)を外してお手入れしてください。

栓パッキン(上)は取り外せません。

②お湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて、ていねいに洗ったあと、流水でよくすすぎ、上ぶたをよく振り水分を拭き取って十分に乾燥させてください。

③お手入れ後は、栓パッキン(下)を正しく取り付けてください。

・つけ置き洗い(水中に放置)はしないでください。

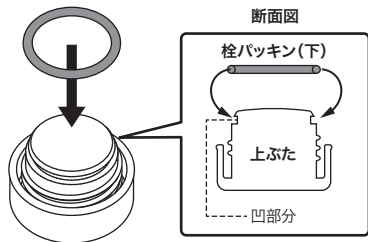
・飲み口が汚れていたり異物が付着したままになっていると、漏れ原因になりますので、汚れをきれいに拭きとってください。

パッキン(ゴム製部品)について

この製品にはパッキン(ゴム製部品)が取り付けられています。お手入れの際は、下記手順に従って、パッキンを正しく付け外ししてください。パッキンが正しく取り付けられていないと、漏れなどの原因になります。また、お茶・コーヒー等の濃い色の飲料物を入れると、パッキンは着色します。汚れが目立ってきたら 交換をおすすめします。

栓パッキン(下)の取り付け場所

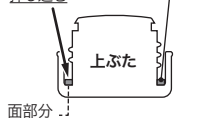
上ぶたの凹部分に合わせてきっちりとはめ込みます。



栓パッキン(上)について

基本的に取り外し不要ですが、ご使用とともに緩んできた時は、針金など細いもので面部分へ押し込んでください。

細いもので
押し込む



※上ぶた、パッキンは消耗品です。1年をめやすにご確認ください。消耗のある場合は、品番・パーツ名・色柄をご確認の上、お買い上げの販売店又は当社のお客様相談室までご連絡いただくか、当社ホームページのお客サポート(消耗品パーツの購入)よりお問い合わせください。

【この商品は上ぶた、各パッキンがセット販売になっています。】

お手入れの方法 2

本体

- ・布(台所用中性洗剤を入れた水に浸し固くしぼったもの)でふきとってください。丸洗い、つけ置き洗いはしないでください。すきまから水が侵入し、サビが発生する事により保温・保冷効力が損なわれたり、塗装の変色・剥離が発生する事があります。また、すきまに溜まった水が使用中に漏れて他の物を汚す原因になります。

本体内側

- ・お湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませ、ていねいに洗ってください。

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、水質や不純物などにより「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が付着する場合があります。

このような場合は、市販のクエン酸(約5g)をぬるま湯でうすめて入れ、約30分～1時間後放置した後柔らかいブラシなどできれいに洗い、水で充分にすすいでください。

こんなときは…

長期間使用しないとき	・上ぶた・本体の汚れを落とし、乾いた布で拭き、自然乾燥させてください。
口元から飲料物が漏れる	・各パッキンの取付方向や位置、浮きが無いか確認してください。 ・各パッキンが汚れていないか確認してください。 ・飲料物を入れすぎているか確認してください。
本体などからにおいがする	・本体内側に汚れが付着していないか確認してください。
保温・保冷がきかない	・十分に熱い(冷たい)飲料物を入れているか確認してください。 ・本体内側の予熱(予冷)をすると効果的です。 ・飲料物の量が少なくないか確認してください。 ・飲料物の量が少ないと、保温・保冷効力が弱くなります。
緑茶などが赤茶色に変色した	・お早めにお飲みください。お茶を保温すると、お茶の成分が変化して色が変わることがありますが、人体に害はありません。

お問い合わせ先

お問い合わせ品番

BFB-19

品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点、その他故障などがございましたら、使用を中止してお求めの販売店か当社お客様相談室までお問い合わせください。お問い合わせの際は、必ず本体底部に記載されている品番をお確かめください。

お客様相談室

TEL : 06-6961-5885 FAX : 06-6969-6692

受付時間 : 9 : 00 ~ 16 : 00 (土・日・祝日・年末年始等を除く)

ホームページからもお問い合わせいただけます。☎<http://www.allgo.co.jp>

オルゴ株式会社

本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-4-2